

会 議 録

会 議 名	第4回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会	
日 時	令和元年8月19日(月) 10:00~11:30	
場 所	八王子市学園都市センター 第1セミナー室	
参加者氏名	参加者	小根山裕之座長、山崎勲介、宮瀬睦夫、田口秀夫、深沢靖彦、杉浦貢、伊東寿、原清、吉川真実、杉浦昌平(武田阿沙美)、早田俊介(小野寺雄大)、井上喜央、下田直啓、森澤雅昭(中村亘登)、小林弘樹、太田國芳、廣瀬勉、中邑仁志、村野弘幸、西山忠 ※()は代理出席者
	事務局	【都市計画部】 交通企画課長：山崎泰弘、交通企画課課長補佐兼主査：染谷祐介、関口和孝、交通企画課主任：畠山陽平 【道路交通部】 路政課長：水上太一、計画課長：杉本雅彦、路政課課長補佐兼主査：小谷田隆芳 【拠点整備部】 市街地整備課長：和田隆、市街地整備課主査：鈴木史人
欠 席 者 氏 名	佐藤彰恒、露木輝久、臼井賢二	
議 題	(1) 資料説明 ・円滑な交通環境の創出に向けた提言(素案)について	
公開・非公開・別	公開	
非 公 開 理 由	—	
傍 聴 人 の 数	なし	
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1：八王子駅周辺交通円滑化対策検討報告書 目次(案) ・資料2：第4回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料 	

1 円滑な交通環境の創出に向けた提言（素案）について

- 【事務局】（「資料1：八王子駅周辺交通円滑化対策検討報告書 目次（案）」及び「資料2：第4回 八王子駅周辺交通円滑化対策検討懇談会資料」に基づき説明。）
- 【参加者】今までの意見をまとめていただいているが、自動二輪車について記載がないように思う。自動二輪車が使われている状況はどうなっているか。
- 【事務局】自転車駐車場の整備状況を示させていただいているが、北口の方で1300台ほど、南口の方で200台ほど自動二輪車を駐車できる状況となっている。資料の方にバイクの利用状況も記載するように検討させていただく。
- 【参加者】交通モードの一つとして、自動二輪車は必要だろう。
- 【参加者】甲州街道においても特定旅客車両の乗降があるので、路線バスの走行環境の改善の対象に加えるべきではないか。
- 【事務局】そこで対策ができるのかといった懸念はあるが、問題がある個所として資料への記載を検討する。
- 【参加者】多摩都市モノレールについて、整備推進協議会の進捗の状況を教えていただきたい。また、交通政策審議会で「事業性に課題あり」という意見があったかと思うが、「事業性に課題あり」と書かれてしまうと可能性はゼロに近いと聞いている。
- 【事務局】整備推進協議会の進捗は、昨年度は看板をJR八王子駅南口、京王線南大沢駅に2か所、京王八王子駅に設置し、市民の皆様への啓発活動を主に実施している。また、昨年度1日乗降体験を実施し、27年度には30%程度であった認知度が60%程度にあがってきており、少しずつ認知が進んでいると考えている。事業性の課題については、検討を進めており、八王子みなみ野周辺では開発が盛んにおこなわれていることから、開発が進めば採算性が確保できるのではないかと考えているところである。
- 【参加者】整備の進捗がないのならば、こだわる必要はないのではないか。町田市では土地買収を進めるなど必死になって延伸を考えている。審議会で「事業性に課題」といわれると可能性はゼロに近いということを専門家から指摘され、BRTの検討に切り替えていく必要もあるのではないかと考えている。あまりこだわりすぎると総合交通体系に影響するのではないか。
- 【事務局】八王子市としては旗を下げたわけではなく、モノレールを推進して行きたい。
- 【参加者】八王子駅周辺円滑化ではモノレールの有無にかかわらず、駅周辺の課題を解決していこうという提言としたい。
- 【参加者】モノレールを推進するのであれば、集いの拠点整備基本計画のリーフレットにも八王子ルート of 構想を書くべきではないか。
- 【参加者】提言の素案をご提示いただいているが、このような形の体裁となるのか。
- 【事務局】今回素案という形でご提示させていただいた。このような形で提言書としてまとめさせていただき、次回にご確認いただきたい。
- 【参加者】素案を拝見すると何か足りないような気がする。提言ということで交通環境を良くしようというのはわかるが、それによってどのようなまちづくりを目指すのか大きな目標を前段として書いたほうがよいのではないか。この懇談会で提案させていただいたが、MaaSの話が含まれておらず、これからの時代MaaSの話がない交通計画はないだろう。

国土交通大臣に「居心地が良く歩きたくなるまちなか」という提言があった。地方公共団体をパートナーとして募集していたが八王子市も応募したと思う。そういったまちづくりの目標が前段に必要だろう。

提言の中で、人を中心として1階（Eye level）を開放しようという提案があった。八王子のマルベリーブリッジを作る際に先進事例として仙台に見学に行ったが、1階がすべて使えなくなってしまうため、やるべきではないと思っていた。

原宿・新宿・渋谷・銀座など、いい街にはデッキのようなものはない。交通的には渋谷のスクランブル交差点のようなところは、橋を架けてしまったほうが交通処理の面では楽だと思う。いい街はそういうものを作らないで、1階レベルをよくしようとしている。1階の部分を開放できるような交通環境が必要であり、今の八王子駅北口駅前広場の改良が必要だと考えている。他の方の提案で2階レベルを歩行者にすみ分けるとあったが、国土交通省の発言で1階をオープンにするということになると、1階部分を歩けるように整備していくことになるだろう。

以前、八王子駅北口地下駐車場を活用した一般車の寄り付き社会実験をやったが、PR不足もありうまくいかなかった。北口駅前広場の改良に向けたスタートとして、地下駐車場をタクシー乗場として活用する社会実験をしてはどうか。

【事務局】 提言書作成に当たっては、導入部分で提言のイメージを整理し、次回提示させていただく。まずは提言をまとめて、できる施策から取り組みを進めるとともに、第6回以降の懇談会において進捗管理を行っていきたい。

第3回までのご意見をいただいた提案については、庁内で今後何ができるか検討を進めている。次回で提言を取りまとめて、その後も懇談会を継続しご意見をいただきながら、実証実験をやるなど、具体的に進めていきたいと考えている。

【参加者】 提案いただいた内容については提言の中で含まれていると認識している。事務局の方から話があったが、提言をまとめたあとこういった場で個別に具体的に進めていくということである。最初の話は、どういったまちづくりの方向性を目指すのかであるが、提言書には「はじめに」という形で記載するということである。

【参加者】 タクシー乗場を地下に移動するという話があるが、タクシーを利用する足の悪い方、急いでいる方などはすぐ乗りたいという要望がある。地下に持つていくのはバリアフリーの観点からはナンセンスなのではないか。新宿駅の南口にバスタができてそちらにタクシー乗場を移したが、駅から遠くなってしまって利用が少ない。

【参加者】 交通弱者にとってタクシーは必要不可欠な交通手段である。そういった方々が乗りやすいように、改札から最も近い場所に設置してあるのが主流であり、地下に移してしまうとその価値を損なってしまうと考えている。

北口はバス・タクシーの発着が多く安全性を担保するのは大変であり、プロドライバー同士でも事故がある。そこに一般車が混在すると混乱する。ブリッジを歩行者、1階を営業車、地下を一般車とすみわけを図るのが最も安全である。

【参加者】 タクシーの地下化については、地上から乗れる方が便利であり、地下となると、障害者、高齢者、妊婦さんなどが利用するにあたり、エレベーターなどのバリアフリー施設への集中が課題となるだろう。

移動が困難であるからこそ、目についたバス・タクシーに乗りたいということがある。

地上ですら乗降の動作に乗務員の方の介助などが必要となるため、そこにエレベーターなどでの移動が加わると、使いやすい施設となるかが懸念される。

【参加者】一般車の利用者も高齢化が進んでいるので、一般車は地下というのはおかしくなる。元気な方だけが一般車を使っているわけではないので、なんのために駅の近くに寄付きがほしいかという、不便を感じているからではないか。

【事務局】本懇談会において、問題や今後どのような対策が必要なのか、関係各所の皆様と共有できると考えている。今後懇談会を継続していくにあたり、対策についてできることをしっかりと考えていきたい。

【参加者】八王子市が MICE に取り組んでいる理由は、人口減少や学生の減少、商店での消費減少している対策で、世界中、日本中から MICE を八王子市に誘致し、多くの方に八王子に来ていただいて、商店街、バス交通からホテルまでが潤うことを目指している。

MICE が八王子に来ていただくためには、ある程度の整備がされていないと選んでもらえない。八王子に来るための足、翌日移動するためのバス・タクシーが必要である。都内の観光や青梅の酒蔵への観光など色々なニーズがあると思う。そういったニーズにこたえていくには観光バスなどのバスターミナルはどうしても必要だと考えている。

産業交流拠点ができれば多くの方が来られるわけで、そういった方々に対応するためには、一般の路線バスで移動することもあるだろうが、何百人規模の団体であれば大型観光バスは不可欠である。2022 年には産業交流拠点ができるので、乗降できる施設が必要であり、提言に取り入れるとともに、実現に向けてしっかりやっていただきたい。

【事務局】旭町・明神町地区の開発、南口集いの拠点の開発、八王子南バイパスの整備が八王子駅周辺で始まっており、中長期的なビジョンも持ちながら、提言に盛り込み進めていきたい。

【参加者】無電柱化について、バリアフリーの観点から歩行困難者にとって良いという意見が多いが、災害時の復旧について時間が掛かると聞いている。

【事務局】無電柱化については、地中に埋めておいた方が地震には強く、一方で電柱は倒壊時に、緊急輸送などに障害となることも考えられる。

【参加者】BRT についてご意見があったので情報提供させていただく。連節バスが大量輸送手段として千葉や町田で走っているが、いままで 1 億円の外国製しかなかったが、オリンピック用にいすゞと日野が開発した国産が発売されて 8000 万円ほどである。一般的な路線バスが 2,500 万円なのでおおよそ 3 倍であるが、乗客が約 1.5 倍乗れるようになるということで、各社乗務員不足から検討を進めている会社もある。

【参加者】JR 八王子～京王八王子駅間のサイン整備を進めてほしい。北口に観光案内所を運営しているが、JR 八王子駅を降りてきた方から、京王八王子駅はどちらかという単純な問い合わせを多く受ける。橋本駅や町田駅にしても、JR と私鉄の間はわかりやすくなっており、歩きやすくなっている。八王子駅については初めて来た方は歩けない状況になっている。産業交流拠点が完成すれば多くの方が来訪されるので早急に整備してほしい。

【参加者】医療刑務所跡地と八王子駅南口の間のとちの木通りになるが、検討の対象エリアとなっているのか。整備が進んだ時に南口からのアクセスを提言に盛り込む必要があるのか確認したい。

【事務局】懇談会も継続していくので、集いの拠点の整備進捗に合わせて検討をしていきたい。エリア全体の対策として提言に含ませていただく。

【参加者】シェアサイクルについて必要な項目だと思うが、どこで乗ってどこで降りるのかまで考えているのか。

【事務局】シェアサイクルが利用しやすいように、様々な場所にポートが多くあることが重要であると聞いている。

【参加者】提言にはポートの候補地などは出てこないのか。

【事務局】提言にポートの設置場所までは含めない。シェアサイクルの事業者も採算性を考慮しており、市としてポートを設置したい場所を提案しても、事業者のノウハウから採算性が見込めない場合がある。

【参加者】よく利用されている人の意見を聞くと、返しづらいポートや、充電されていない自転車ばかりのポートがあると聞いており、ポートの位置が重要だと思う。せっかく円滑化を検討するならば、そこまで提案した方がいいと考える。

【参加者】シェアサイクルのポートの位置は重要で、しっかりと場所を確保しないと置きたいところに置けないなどの課題があるだろう。

【参加者】事務局からも話があった通り、検討はさせていただいている。素案に導入という形で書いてあるが、まずは実証実験を試みる必要があるだろう。他の自治体でも導入が進められているが、明確な手法が確立されていない。そういった経緯も含め、導入に先立ち、実証実験を行って検討を進めたい。

このような段階にあるため、懇談会が進んでいく中でより具体的になった段階で報告させていただきたい。今日の段階では、スタートとしては実証実験を行い、八王子にあったシェアサイクルとはどういうものか探っていきたいと考えている。

【参加者】提言の中では、導入に向けて検討を進めていくといった内容にさせていただく。導入に当たってはあらゆる検討が必要で、実証実験も必要だろう。より具体的な話は検討の進捗に合わせて懇談会で意見を頂くことになる。

【参加者】シェアサイクルについて市の方でもここに置いたらいいのではないかという意見はあり、業者とすり合わせが必要ということだが、市では設置場所の意見を持っているが、調整ができていないという理解でよいか。

【事務局】ポートの候補地について調査検討中である。

2 その他

【事務局】次回第5回については、10月頃に予定しており、提言案をご確認いただく。その後、市長に提出させていただきたいと考えている。頂いた提言をもとに、施策を進めていくとともに、進捗に合わせて懇談会にご報告させていただく。